

国語科学習指導案（1年〇組）

平成24年10月19日（金曜日）

第4校時（11：50～12：40）

1の〇教室 指導者 武川 美歩

- 1 単元名 読みの「ものさし」を基にして、お互いの「解釈」を交流しよう
～人物や情景の描写に着目して、作品を読み深める～

2 考察

（1）教材観

「大人になれなかった弟たちに……」は、俳優であり絵本作家でもある米倉斉加年氏の作品で、氏が自らの体験を基に語ったものである。太平洋戦争を背景に、戦闘員ではない女性や子どもたちの生活を描き、戦争の非倫理・非理性を強く訴える作品である。

戦争という特殊な状況下の話であるが、兄が弟を想う気持ちや、母と子の固いきずなはいつの時代においても不変のものといえるだろう。現代の中学生にとっても、自分の親や兄弟と重ねて読むことのできる作品である。ただしここで注意したいのは、生徒のとらえが「戦争はいけない」という、作品を読まずとも分かる一般常識論で落ち着いてしまうことである。初発の時点では、そうした感想が多くを占めると予想されるが、作者が作品をしたためた本当の意図を叙述に即して読み取ることこそが、国語科の授業としてなされるべきことと考える。初発の感想からさらに読み深めるために、叙述を基に自分なりに「解釈」させる活動を通して、戦争で多くの傷を負った人々の悲しみや苦しみ、怒りについて、しっかりとらえさせたい。

そこで本教材では、第1学年「C読むこと」の指導事項「ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること」と、「オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること」を指導する。絵本という表現手法で描かれた本教材は、各文の長さが比較的短く、事実関係もとらえやすい。しかし、そこには心情や状況に関する深い意味が込められている。今回は、登場人物の心情は「悲しい」など心情を直接的に表す言葉だけでなく、行動や情景描写を通して表現されることを確認しておきたい。「はばたく群馬の指導プラン」でも、「文章の特徴や表現の仕方について考えること」が課題として挙げられており、人物の行動や情景描写から心情を読み取り、それらを根拠に自分の「解釈」をもたせることで、作品を読み深める力の育成を図りたい。

本教材を効果的に指導するための言語活動として、読みの「ものさし」を基に構築した「解釈」の交流活動を設定した。まず、「人間関係」や「クライマックス」といった、文学の構成要素の一側面である「分析の観点」について学習し、読みの「ものさし」を共有するという形で作品のとらえ方に対する共通理解を図る。それを踏まえた、個々の「解釈」を互いに交流し、内容理解をより深めていくといった活動である。

「分析の観点」という共通認識の下、自己との「対話」（内容についての一人読み）、他者との「対話」（意見交流）を経て、再び自己や作品と向き合う「対話」（内容についてのまとめ・作品に対する自分なりの評価）など、「解釈」をもち、交流し、さらには内容理解を深めるための多様な「対話」活動を行うことは、人物や情景の描写に着目して作品を読み深める力を育成する上で有効であることと考える。本単元を設定した。

（2）生徒の実態（男子17名 女子15名 計32名）

全体として明るく、活発な雰囲気のある学級である。生徒たちは前期に、「にじの見える橋」の学習を通し、主人公である少年の心情を表す表現や、行動の描写に着目し、その心情の変化をとらえた。また「星の花が降るころに」では、登場人物の心情や行動、場面展開などに注意して作品を読み取った。本単元では、登場人物の行動や情景描写などに着目することで、その心情とともに作者の思いをとらえる。これまで互いの作文を読み合う小グループでの活動を経験してきたが、それは「良い作品を選ぶ」ことをねらったものであり、内容について補足したり修正したりするような活動は特に行ってはいない。

3 単元の目標

登場人物の行動や情景描写などを基にしてその人物の心情を読み取るとともに、作者の思いをとらえ、多様な「対話」活動を通して自分の考えを広げることができる。

4 授業中における生徒指導

- 作品に初めて触れる場面においては、「配給」「疎開」等の叙述を基に、生徒の日常とかけ離れた当時の時代背景や人々の心情について考えさせることで、「今の時代」を生きる自身の生き方を意識させる。
- 生徒が意見交流する場面においては、個々の「解釈」を認め合いながら共感的に聴き合えるよう、質問の仕方・意見の述べ方について指導し配慮する。
- 作者の思いを基に自分の「解釈」をまとめる場面においては、生徒個々の思いを尊重し自由に記述させるとともに、今後あるべき姿や次世代に伝えていく事柄について意識させる。

5 指導と評価の計画（5時間予定）

【関】：国語への関心・意欲・態度

【読】：読む能力

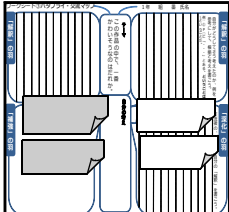
【言】：言語についての知識・理解・技能

評価規準	(1)	時代背景や、人物・情景の描写に関心をもって当該作品を読もうとしている。				【関】	
	(2)	登場人物の行動や情景描写に着目してその役割や心情について読み取り、自分なりの「解釈」をもち意見交流をしている。				【読】	
	(3)	当該作品に表れている作者の思いをとらえ、多様な「対話」活動を通して自分のものの見方や考え方を広げている。				【読】	
	(4)	反復や文末表現、「……」の記号など、表現が工夫され効果的に使われていることを理解している。				【言】	
次	時	段階	主な学習活動	指導上の留意点及び支援・評価	関	読	言
1	1		＜本単元の課題をつかむ＞ ①全文を音読する。 ②初発の感想を書き、発表する。 ③当該作品の設定（時と場所）、登場人物の確認をする。	○登場人物については、第2時で詳しく扱う。 【関】: 当該作品を読み、初発の感想をまとめようとしている。 (ワークシート・発表の様子)	○		
		見通し1へ習得V	＜本単元の課題を追究する＞ ④「分析の観点」についての定義を知り、当該作品の「解釈」をもつ上での共通の尺度を得る。	○昔話や既習の文学作品など身近な例を示し「分析の観点」を理解させることで、読みの「ものさし」を共有するという形で当該作品の「解釈」をもつ上での共通の尺度を習得させる。 【読】: 読みの「ものさし」である「分析の観点」を理解し、当該作品の「解釈」をもつ上での共通の尺度を得ている。 (ワークシート・発表の様子)		○	
		見通し2へ活用V	⑤「分析の観点」を基に当該作品の内容について「対話」活動をしなが読み取り、自分なりの「解釈」をもつ。	○早く書けた生徒に板書させたり、教師やペア、取材での「対話」をさせたりすることで、全員に「解釈」をもたせる。 【読】: 「分析の観点」を基に、当該作品の内容について読み取り、自分なりの「解釈」をもっている。 (ワークシート・活動の様子)		○	
2	4（本時）	見通し3へ拡充・深化V	⑥「分析の観点」を基に、自己の「解釈」と根拠について意見交流を行う。 ⑦「分析の観点」を基に、自己の「解釈」をまとめる。	○最初に3～4人グループで、次に全体で、という流れで段階的に意見交流を行わせる。 ・グループの段階では、回覧するワークシートに、各自の記述に対しての「共感や納得」や「疑問や反論」を表す色違いの付せん紙を貼らせることで、お互いの「解釈」と根拠を補強や修正するための材料を多く集めさせる。 ・全体の段階では、机を口の字型にし、互いの顔を見やすくさせる。また、意見交流の中で参考となった意見を、上述の2色とは違う色の付せん紙にメモ書きさせる。 ○意見交流後に個の活動を取り入れることで、自分の「解釈」を、より深めさせるようにする。 ・合計3種類の付せん紙を活用することで、最終的な自分の「解釈」をまとめさせるようにする。 【読】: 他者との意見交流を通して自己の「解釈」と根拠について補強や修正をし、まとめている。 (ワークシート・交流の様子)			○
			＜本単元の課題をまとめる＞ ⑧「分析の観点」を基に作者の思いをとらえる。 ⑨とらえた作者の思いを基にして自分の考えを書く。	○対役を変えた場合に生ずる二つのクライマックスから読み取れる、主役の心情の変化を基にして、当該作品全体の主題について一般化し、考えさせる。 ○当該作品末尾の文や題名、「……」などの表現効果に気付かせることで、作者からのメッセージ性が際立つようにする。 【言】: 文脈における言葉の意味や表現の工夫がもたらす効果について理解している。 (ワークシート・発表の様子) ○初発の感想と比較して書かせることで、読み深まった点について意識させる。 【読】: 自分自身の経験や思いと重ねながら、当該作品を通じて考えたことを書いている。 (ワークシート)			○

6 本時の展開 (第4時)

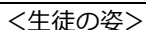
- (1) **ねらい** 他者との意見交流を通して自己の「解釈」と根拠について補強や修正を行い、まとめる。
 (2) **準備** 教科書(光村図書出版)、ペン、ワークシート③(生徒が記入しているA3判のもの・黒板掲示用・A4判に縮小したもの)、付せん紙(3種類)、ネームプレート、ホワイトボード、辞書、文型を示した短冊黒板、タイマー

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
1 本時のねらいを知る。 「この作品で一番かわいそうなのはだれか」について、交流を通して考えましょう。	3分	○前時の時点で生徒がどのような「解釈」であったのか、クラス全体の分布状況を明らかにするために、立場ごとに生徒のネームプレートを分けて、ホワイトボードに貼っておく。 ○ワークシートや付せん紙を拡大したものを提示し、作業のイメージをもたせる。
2 3～4人の小グループで意見交流をする。 「共感や納得」 ピンクの付せん紙 「反論や疑問」 黄色の付せん紙 * (ア) 	18分	○基本的には座席の順で班編制をするが、同じ「解釈」をもつ生徒同士が集まらないように配慮する。 ○互いのワークシートを回覧し、「共感や納得(新たな気付きを含む)」や「反論や疑問」について、用意された2種類の付せん紙に自由に記述させる。 ・あらかじめ交流の時間を設定し、時間が来たら終了させる。 ・その際、自身のワークシートを縮小した物を手元に置かせ、それを基にしながら、付せん紙に書き込ませるようにする。 ・書き込みは付せん紙も含めて、全てペンを使用させ、補強や修正の部分をより際立たせるようにする。 ・付せん紙は後で移動させることを考慮して、ワークシート下半分の部分に貼らせる。* (ア)
3 グループで出された意見を個人で整理した後、相談タイム(「解釈」を補強するための時間)の中で、同じ「解釈」の者同士で集まり、話し合う。 * (イ) 「解釈」の羽 「補強」の羽 「解釈」の羽 「深化」の羽	8分	○自分のワークシートに貼られた付せん紙を、内容別に所定の場所へ移動、整理させる。* (イ) →「共感や納得」なら「解釈」の羽に付せん紙を移動させる。 →「反論や疑問」なら「補強」の羽に付せん紙を移動させる。 ○「反論や疑問」については、同じ意見の者で意見交換させることで、自分達の論を補強させるようにする。 ・相談タイムで出された意見は、「補強」の羽に直接書き込ませておく。 ○相談するのではなく、個人でまとめたい場合はそれでもよいことを伝える。
4 机をロの字型にし、全体で意見交流をする。 「自分のメモ」 青色の付せん紙 <生徒の姿> ○かわいそうなのは僕 ・弟の死を「一生忘れません」と言っているから。 ・かわいがっていた弟を自分のせいで亡くしたと思っているから。 ○かわいそうなのは母 ・辛い思いをしてきたのに、結局子どもを失ってしまうから。 ・子どもを守りきれなかったから。 ○かわいそうなのはヒロユキ ・戦争の犠牲となって亡くなったから。 ・成長に気づいてもらえなかったから。	6分	○お互いの顔を見やすくするために、机の配置を変更する。 ・少数派から意見を出させる。全ての意見が出そろってから、質問や反論などを出させるようにする。 ・「○○さんに質問です」など、相手の名を言ってから発言させることで、相手意識をもたせるとともに聴き方にも留意させる。 ・受容的な雰囲気で行えるよう指導する。 ○教師は黒板の前で意見の整理をする。 ○相手の発言に対し共感や反論等、青色の付せん紙にメモをさせ貼らせることで、積極的に発言しづらい生徒の思いを見取る。

5 自分の「解釈」とその根拠について補強や修正を行い、まとめる。

* (ウ)



ア 「解釈」を補強した例

かわいそうなのは、母だと考える。
なぜなら大切なものを失ったからだ。
確かに、ヒロユキのように死んでしま
うことが何より悲しいのかもしれない。
しかし、大切なものを守るため苦
労してきたのに、結局失ってしまう事
の方が辛いと考える。

従って、一番かわいそうなのは、母である。

イ 「解釈」を修正した例

かわいそうなのはヒロユキだと思える。なぜなら本来なら死ななくてもよい栄養失調が原因で亡くなったからだ。最初は、母が一番かわいそうだと思っていたが、やはり死ぬというのは重大なことだ。

従って、一番かわいそうなのは、ヒ
ロユキである。

○話し合い後に、再度意見の分布を確認する。

<発問>

貼られた付せん紙で、反論も含め「なるほど」と思った意見や「使いたい」と思った意見を選んで、自分の「立場」の胴体近くに貼り直しましょう。貼れたら、それを基にして「深化」の羽に自分の「解釈」をまとめましょう。また、使用しない付せん紙は、その場所に残し、区別しておきましょう。

○グループや全体での交流活動で得た3種類の付せん紙を基にして、「深化」の羽に最終的な自分の「解釈」を書かせるようにする。

- ・付せん紙は全て移動するのではなく、必要なものだけを選択させるよう意識付ける。その際、残された付せん紙はその場所に残させるようにする。* (ウ)

- ・相手の反論も取り入れてまとめられるよう、文型については教師が参考としてモデルを示す。(板書計画参照)

- ・早く書けた生徒に発表させることで、書けない生徒が参考にできるようにする。

- ・ 本時の活動は、クライマックスや主題と深いかわりがあること、次時はそれについてまとめていく活動を行うことを伝える。

○ワークシートは回収する。

【読】:「分析の観点」を基にした自己の「解釈」と根拠について補強や修正を行い、まとめている。

(ワークシート・交流の様子)

7 板書計画

〈文型モデル〉

自分の「解釈」を「深化」の羽にまとめよう。

私は一番かわいそうな人物を……と考える。(自分の立場)
なぜなら、第一に……からだ。第二に……からだ。第三に……。(根拠)
確かに……かもしれない。(他の論の引用)
しかし、……だ。(自分の「解釈」)
従つて、一番かわいそうな人物は……だ。(自分の立場の強調)

「この作品で一番かわいそうなのはだれか」について交流を通して考えよう。

大人になれなかった弟たちに……

米倉 齊加年

僕 母 ヒロユキ

■ 本時の学習（第 1 時）

- （１）ねらい 当該作品の全文を読み、印象に残った場面や人物、その理由等初発の感想をまとめる。
（２）準備 教科書、ワークシート①、辞書
（３）展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
1 本時のねらいを知る。 2 教師の範読を聞く。 作品を読んで感じたことをまとめましょう。	12分	・ 本時のねらいを知らせ、学習の見通しをもたせる。
3 当該作品の全文を黙読する。 4 当該作品を読み、印象に残った場面や人物、その理由等初発の感想をワークシートにまとめる。	15分	・ 早く書けた生徒には意味調べをさせ、作業の空白化をなくす。 【関】：当該作品を読み、印象に残った場面や人物、その理由等初発の感想をまとめようとしている。 （ワークシート①・観察）
5 感想の内容について発表する。 作品を読んで感じたことを発表しましょう。 聞いている人は、「自分が考えもしなかったこと」や「自分とは反対」だと思いう意見についてワークシートの裏にメモをしましょう。 6 意味調べをする。	7分	・ 発表の際は、挙手や教師による指名ではなく、自主的な起立による「指名なし発表」を行う。 ・ 聞いている生徒には聞く際の観点を示し、発表者の意見をメモするように促す。 ・ 発表後に、起立し発表した生徒及びメモ書きをした生徒を賞賛し次時以降への意欲付けをする。
7 当該作品の冒頭 1 ページ分を音読する。	10分	・ 指定された範囲の中から好きな文章をいくつか選び、自主的に起立して読ませる音読活動を行い個別評定を行うことで、起立することへの抵抗感をなくすとともに、意欲の喚起を図る。 ・ 冒頭部を全員で読むことで、当該作品の設定をとらえやすくする。
8 当該作品の設定、登場人物の確認をする。 この作品は、いつ・どの場所での話でしょうか。 また、どんな人物が登場したでしょうか。	6分	・ 分析の観点「設定」（時と場所）については、とくに例示し理解させるのではなく、当該作品の内容から読み取らせる。 ・ 当該作品の「設定」、「登場人物」についてはここで確定するが、主要な登場人物の役割については次時に確認する。 ・ ワークシート①は回収する。

■ 本時の学習（第2時）

- (1) ねらい 読みの「ものさし」である「分析の観点」を理解し、当該作品の「解釈」を持つ上での共通の尺度をもつ。
- (2) 準備 教科書、ワークシート②、辞書
- (3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点及び評価
1 本時のねらいを知る。 読みの「ものさし」について学習しましょう。	2分	・ 本時のねらいを知らせ、学習の見通しをもたせる。 ・ 「分析の観点」という言葉は、「読みの『ものさし』」という、平易な表現に置き換えて指導する。
2 「分析の観点」についての定義を知る。 （分析の観点： 「クライマックス」「人間関係」） 作品の「クライマックス」とはどのようなものでしょうか。また、作品の「人間関係」とはどのようなものでしょうか。	43分	・ 馴染みの深い昔話や既習の文学作品など、身近な例を基に「分析の観点」の定義について理解させた上で、問題演習を行う。 ・ それぞれの定義については短冊黒板で掲示する。
3 「分析の観点」の定義に基づき、ワークシートで演習する。 「ドラえもん」の「主役」はだれだと考えますか。また「対役」はだれだと考えますか。	43分	・ 「クライマックス」の扱いについては一つに決定するのではなく、なぜそのように考えたのかという理由付けを大切にする。 ・ 演習問題の扱いには軽重をつける。ここでは、最後の問題について大きく取り上げ、全体で意見交流を行う。 ・ 全体交流は机をコの字型に変え互いの顔を見やすくさせる。 ・ 「分析の観点」の定義を基に理由を考えさせるようにする。 ・ 多くの生徒に発言させ、教師がそれを受容的に受け止めることで、「話し合う」という雰囲気慣れさせる。 ・ 話し合いの中で参考になった意見等についてメモをさせる。 ・ 交流後、発表した生徒・メモをした生徒を挙手させ賞賛する。
4 当該作品の登場人物の役割について予想する。 作品の登場人物を定義に沿って分類してみましょう。	5分	・ 意見として出された登場人物を、「主役」と「対役」、「その他」に分類する。 ・ 理由等は特に書かせず、挙手での確認にとどめる。
5 本時の振り返りをする。		・ 「分析の観点」について理解できたか自己評価をさせる。 【読】: 読みの「ものさし」である「分析の観点」を理解し、当該作品の「解釈」を持つ上での共通の尺度をもっている。 (ワークシート②・観察・自己評価)

(1) ねらい	「分析の観点」を基に当該作品の内容について「対話」活動をしなが読み取り、自分なりの「解釈」をもつ。
(2) 準備	教科書、ワークシート③、ワークシート③拡大図、辞書、短冊黒板
(3) 展開	

- 資料 7 -

■ 本時の学習（第 5 時）

- （１）ねらい 自分自身の経験や思いと重ねながら、当該作品を通じて考えたことを書く。
 （２）準備 教科書、ワークシート①④、辞書、当該作品の絵本、拡大した挿絵、短冊黒板
 （３）展開

学習活動	時間	指導上の留意点と評価規準
1 本時のねらいを知る。 この作品で一番かわいそうなのはだれか、「僕」からのメッセージを基に考えましょう。	2 分	・ 本時は、前時の「作品で一番かわいそうなのは誰か」の「答え」となり得る、「僕」からのメッセージを受け取る活動であることを伝える。 ・ あらすじが書かれた短冊黒板を提示する。 <第 3 時で使用>
2 分析の観点「人間関係」「クライマックス」を基に、「対役」を入れ替えた場合の「クライマックス」と「主役」の変化について考える。 対役がヒロユキの場合、また母だった場合、「僕」の心は「クライマックス」でどのように変化したでしょうか。 <対役がヒロユキ> 弟を亡くした悲しみや自責の念に駆られる。 <対役が母> 強いと思っていた母は、実は子を守るために必死だっただけということに気付く。	28 分	・ 「僕」の悲しみや後悔の深さについては、当該作品の冒頭及び末尾の文が現在形であることを基に確認する。 ・ 家族を守ろうとする母の必死の思いについては「その時の顔を、僕は今でも忘れません」という一文を基に確認する。 ・ 「対役」を変更することで「クライマックス」やそこから読み取れる「主役」の心情も変化することを確認する。 ・ 提示された二つの「クライマックス」については、どちらを好むか確認するにとどめる。
3 題名からヒロユキに対する「僕」の思いについて考える。 題名の「・・・」にはどんな言葉が入ると思いますか。		・ 「大人になれなかった」と「ならなかった」の意味の違いや、「弟たち」と複数形であることを確認する。 ・ 題名の複数形や「・・・」に『捧ぐ』といった言葉等を挿入させることで、当該作品の主題を一般化する。
4 当該作品の「主題」について考える。 結局、一番かわいそうなのは、だれなのでしょう。 ・ 戦争で亡くなった人達 ・ 戦争で大切な存在を失った人達 この作品でずっと描かれていたキーワードは何でしょうか。それを基にして、「僕」からのメッセージをまとめましょう。 <キーワード> ○戦争 ○死（犠牲） ○守る ○悲しみ 等 （例）戦争によって大切な存在を守ることができず失ってしまったことへの深い悲しみや怒り		・ 分析の観点の一つである「主題」について考える上で、昔話や既習の文学作品等の例を示し共通理解を図る。 ・ 「主題」については口頭で説明するにとどめる。 ・ あらすじが書かれた短冊黒板を基に、そこから浮かび上がる当該作品の骨子となる言葉を「キーワード」としてとらえさせ考えさせる。 ・ キーワードをつなぎ、「主題」について考えさせることで、「戦争はいけない」という一般論だけで終わらないように配慮する。 ・ 書けたら前に持ってこさせ、早くできた生徒から板書させるようにする。
5 単元の学習について振り返る。 この作品を読んで考えたことをまとめましょう。	20 分	・ 当該作品の原典の絵本や拡大した挿絵を提示し、その世界観をより深くとらえられるようにする。 ・ 第一時のワークシートを配付し、初発の感想と比較しながら書かせるようにする。 【読】：自分自身の経験や思いと重ねながら当該作品を通じて考えたことを書いている。 （ワークシート①④の比較・観察）

「大人になれなかった弟たちに……」ワークシート①

一 年 組 番 氏 名

○ 初めて読んで感じたことを、例を参考にしてまとめましょう。

(例)

- ・ 作品を読んで、印象に残った場面や登場人物とその理由
- ・ 作品を読んで、不思議に感じたこと・気になったこと
- ・ 作品を読んで、思ったことや考えたこと

○ 語句を調べましょう。空欄には自分で言葉を入れて調べましょう。

おちおち	【短文】
くなり	
独特	【類義語】独 () ・ 特 ()
胸をはずませる (がはずむ)	
胸がくっばるに なる	
みる	
ひやひや	

読みの「ものさし」について学ぼう

ワークシート②

物語にも「読み方」があるのを知っているかな。ここでは、そのものさしの一つ、「クライマックス」について勉強しよう。



浦島太郎

むかし、むかし、あるところに浦島太郎というやさしい漁師がいました。ある日、浜辺を歩いていると一匹の亀が子ども達にいじめられているのを見つけました。

「これこれ、亀をいじめたらかわいそうだよ。放しておやり。」

そう言っで太郎は亀を助けてやりました。

数日過ぎたある日、いつものように太郎がつりをしていると亀が海から顔を出し、こう言いました。

「浦島様、僕はこの間あなたから助けられた亀です。お姫様がお礼をしたいので、あなたを竜宮城にお連れするようにとおっしゃったので、お迎えに参りました。」

「竜宮城か。それなら、少し行ってみようか。」

太郎は早速亀の背中に乗ると、海の中へと入っていきましました。竜宮城は、さんごに囲まれ、魚が泳ぐ、それはそれは美しいお城でした。お姫様もまた、それはそれは美しいお方でした。

「浦島様、亀をお助けくださりありがとうございます。どうかゆつくりしていつてください。」

太郎は大広間に案内され、たくさんの豪華な料理を、こちそうになり、時の経つのも忘れて楽しみました。まるで夢のような毎日でしたが、数日して、ようやく村や置いてきた母のことを思い出し、家に戻ることにしました。

「そろそろ家に帰らねばなりません。いろいろとお世話になり、ありがとうございます。」

「いつまでもいて欲しいのですが、仕方ありませんね。では、この玉手箱を持っていつてください。でも、この箱は、決して決して開けてはいけませんよ。」

姫はこう言うので、太郎に玉手箱を手渡しました。

太郎は亀に乗って村に帰り着きましたが、そこは以前の村とは違っているように思えました。付近を歩いてみても、だれも知っている者がいないのです。それどころか、自分の家があつた辺りには草が生えていて家もなく、母の姿も見えません。出会った人にたずねても、だれも母の行き先も、さらには太郎のことさえ知らないのです。不安になった太郎は、姫にもらつた玉手箱のことを思い出しました。

「この箱を開けると、元に戻るかもしれない。」

そう思い、あんなに開けてはならぬと言われていた箱のふたを、さつと開けてしまいました。するとどうでしょう、白いけむりが出てきて、太郎はあつという間におじいさんになってしまったのです。太郎は、ただぼうぜんとして、そこに座りこんでしまいました。

一年組 番氏名

①「浦島太郎」の話を、出来事の順に□に当てはめて書きましよう。

ア 浦島太郎が を助ける。

イ 浦島太郎が に招かれる。

ウ 浦島太郎がお土産に をもらつ。

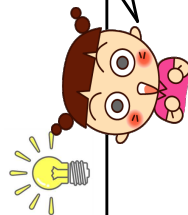
エ 浦島太郎が になつてしまつ。

1 話の中心になつてゐる人物の考えや言動が大きく変わる文

2 それまでずっと同じだつたものや出来事が、大きく変わつてしまつ文

3 物語で一番盛り上がる文
(例) 楽しい話なら一番楽しいところ
悲しい話なら一番悲しいところ

を「クライマックス」といいます。
つまり、「絵になるシーン」のことだね。



②あなたは、この話のクライマックスをどこだと考えますか。①のア、エの中から一つ選び、□の中に記号を入れましよう。

③次の は、四月に勉強した「にじの見える橋」の主な出来事です。あなたは、この話のクライマックスをどこだと考えますか。当てはまるものを一つ選び、記号に○をつけましよう。

ア 少年が、親しい友達と仲たがひする等、何もかもうまくいかない毎日に、いらいらしながら歩いている。

イ 少年が、雨上がりの空に、にじを発見する。

ウ 少年が、にじを見て、初めて自分のことを恵まれていると感じた。

エ 少年が、仲たがひをしていた友達に声をかけ、一緒に、にじを見ようとする。

読みの「ものさし」について学ぼう ワークシート② (裏)

物語にも「読み方」があるのを知っているかな。ここでは、そのものさしの一つである「人間関係」について勉強しよう

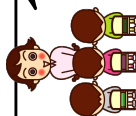


シンデレラ

むかしむかし、あるところにシンデレラという少女がいました。同じ家には、母や二人の姉がいましたが、彼女らは血のつながらないシンデレラに、いつも意地悪をして辛く当たっていました。ある日のこと、家に城の舞踏会への招待状が届きました。母達はそれぞれきれいに着飾ると、シンデレラに用事を言いつけ、さささと出かけていきました。「私も舞踏会に行けたら良かったのに。」と、シンデレラが悲しくて泣いていると、どこからか魔法使いのおばあさんが現れました。「かわいそうに。おまえも舞踏会に行かせてあげよう。」そう言うと、魔法使いのおばあさんは魔法をかけてシンデレラを美しく変身させました。「ただし、魔法は十二時には解けてしまうよ。気をつけなさい。」喜んだシンデレラは早速城に向き、王子様とダンスをおどり夢のような時間を過ごしました。ふと我にかえり時計を見ると、もうすぐ十二時です。「いけない。急がないと魔法が解けてしまうわ。」シンデレラは、あわてて立ち去りましたが、いそいでいたので、ガラスのくつを片方、その場に落としていってしまいました。「あの美しい姫は、一体どこのだれなのだ？」シンデレラのことを忘れられない王子様は、ガラスのくつの持ち主を求めて国中を探し回りました。シンデレラの家にも使いの者がやってきて、姉たちにくつをはかせようとしてしました。ですが、小さくて足が入りません。「私にも、それをはかせてください。」「あんたなんかには、はけるわけがないわ。」と姉たちが馬鹿にして笑う中、シンデレラが歩み出てくつをはいてみるとどうでしょう、ぴったりとサイズが合うではありませんか。こうしてシンデレラは城に迎えられ、王子様と幸せにくらしたということです。

作品には「登場人物」が出てきます。

「登場人物」とは
舞台の上で演技をする人や動物、
物体のことを言います。人間と同じ
ように考えたり話をしたりすれば
机や犬でも「登場人物」なのです。



1年組 番氏名

①「シンデレラ」に出てくる登場人物を文中から抜き出しましょう。

②作品の中で一番多く出てくる登場人物はだれでしょう。

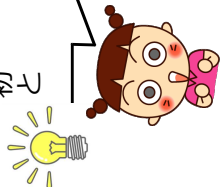
③作品の中で一番多く話をしている（心の中が描かれている）登場人物はだれでしょう。

④作品のクワイマックスで変化（話の最初と最後で変化）した登場人物はだれでしょう。

⑤作品の中で話の中心となっている登場人物はだれでしょう。

作品の中で

- 1 一番多く登場する
 - 2 一番話す（心の中が描かれる）
 - 3 クワイマックスで変化（話の最初と最後で変化）している
 - 4 話の中心となっている
- 登場人物を「主役」といいます。

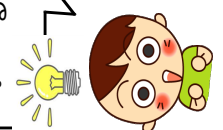


⑥この作品の主役はだれでしょう。

⑦この作品で主役をからりと変えた登場人物はだれでしょう。

作品の中で

- 1 主役の言動を変える影響力がある
 - 2 主役の次に出番が多い
- 等の登場人物を「対役」といいます。

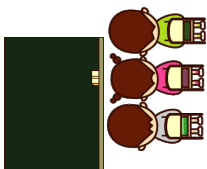


⑧この作品の対役はだれでしょう。

読みの「ものわり」について確認しよう

＜ 練習問題 クークシート② 番外編 ＞

では、ここまで学習してきた
「クニヤマックス」と「人間関係」
について復習しましょう



○次のア～カは「アンパンマン」の主な出来事です。
読んで次の問いに答えましょう。

- ア アンパンマンが、町のパトロールをする。
- イ アンパンマンが、人々にいじわるをしているバイキンマンを発見する。
- ウ アンパンマンが、仲間とともにバイキンマンと闘う。
- エ アンパンマンが、仲間とともにピンチになる。
- オ アンパンマンが、新しい顔を手に入れたことで元気を取り戻し、バイキンマンをやっつける。
- カ アンパンマンが、町の平和を取りもどす。

①ア～カの出来事で、あなたはクニヤマックスを
どうだと思いますか。

②どうしてそのように考えましたか。理由を書
きましょう。

○次のア～カは「かぐや姫」の主な出来事です。
読んで次の問いに答えましょう。

- ア かぐや姫が、竹から生まれる。
- イ かぐや姫が、おじいさんとおばあさんに
大切に育てられる。
- ウ かぐや姫が、五人の若者に求婚されるが
全て断る。
- エ かぐや姫が、帝（天皇）に求婚される。
- オ かぐや姫が、自分は月の世界の住人だと
おじいさんたちに告げる。
- カ かぐや姫が、使いの者と一緒に月に帰る。

①ア～カの出来事で、あなたはクニヤマックスを
どうだと思いますか。

1年 組 番 氏名

②どうしてそのように考えましたか。理由を書き
ましょう。

「クニヤマックス」は、人それぞれの感じ方で
違うこともあります。だから、作品の
とらえ方にも「絶対」はないのです。



○あなたは、「どろえもん」の主役と対役をだれ
だと思いますか。

主役

対役

②どうしてそのように考えましたか。理由を書き
ましょう。

では考えてみよう



○「大人になれなかった弟たちに……」では、

主役は

対役は

【今日の学習を振り返ろう】



①作品には「クニヤマックス」というわのわがあるじや

よくわかった 4 — 3 — 2 — 1

②作品には「人間関係」というわのわがあるじや

よくわかった 4 — 3 — 2 — 1

「解釈」の羽

自分がどうしてそう考えたのか、例を参考にして根拠と「解釈」を書こう。

例：①P〇に「……」とある。だから、
そう思った。

「深化」の羽

交流後の、最終的な自分の「解釈」を書こう。¹

私は、一番かわいそうな人物を（ ）と考える。

なぜなら、

テーマ

この作品の中で、一番
かわいそうなのはだれか。

自分の立場

「解釈」の羽

「補強」の羽

「變化」の図

「大人になれなかった弟たちに……」ワークシート④

一 年 組 番 氏 名

一番かわいそうなのは一体だれなのでしょう。「僕」からのメッセージを基に、考えてみましょう。

① 「人間関係」と「クライマックス」から

「対役」が変わると、クライマックスも変わります。「対役」の違う二つのクライマックスで、「僕」の心はそれぞれどういった風に変化したのでしょうか。

クライマックスの定義の一つでは、「話の中心になっている人物の考えや言動が大きく変わる」んだよね。この作品で、それはどこに書いてある？どこから分かる？



【僕からのメッセージ】

あんなにかわいがっていた弟のヒロエキが、病気ではなく栄養失調で死んだ。そこで「僕」は

【僕からのメッセージ】

今までどんなじぶがあっても絶対に泣けなかった、「強さ」はずの母が初めて泣いたを見た。そこで「僕」は母が本当は、

泣いてくれた。

② 題名が「象徴（イメージ）」するものから

大人になれなかった弟たちに……

③ 「僕」からのメッセージ（作品の主題）について、自分なりに考えましょう。

(ア) 結局、一番かわいそうなのは一体だれなのでしょう。

作品は、出来事を通して一つのメッセージを伝えています。それを「主題」といいます。例えば「ロビンソン島の木」だったら、どんな主題かな・・・？

(イ) この話の出来事を通して描かれている、「この言葉がないと内容を説明できない」「作品で一番大切なことに関係する」といった、大切なキーワードは何でしょう。

(ウ) (イ) の言葉を使って、「僕」からのメッセージ（作品の主題）を自分の言葉でも書いてみましょう。

○「大人になれなかった弟たちに……」を読み終えて、あなたが今感じていることや、考えたことをまとめましょう。

【単元の学習を振り返りましょう】

○この学習を振り返って、自分にあてはまると思う数字に○をつけましょう。

① 「人間関係」や「クニヤマックス」など、今回学習した「読みの『ものとし』」が、作品の内容を読みとる上で、役に立った。

役に立った やや役に立った あまり役に立たなかった 全然役に立たなかった
4 — 3 — 2 — 1

② 他の人と相談したり、意見交流したりしたことは、作品の内容について自分の「解釈」をもちたり深めたりする上で、役に立った。

役に立った やや役に立った あまり役に立たなかった 全然役に立たなかった
4 — 3 — 2 — 1

③ 今回のような学習の形（「読みの『ものとし』」や意見交流など）で勉強して、どんな感想をもちましたか。自由に書いて下さい。

文学作品を読み深める力の 一層の高まり

分析の観点

文学作品分析のための
基礎的な用語とその概念

<文学作品の構造をとらえる>

①設定

時と場所

②人間関係

登場人物・主役や対役等

③視点

一人称・三人称視点・作者と話者、話者の位置等

④構成とクライマックス

作品内の主な出来事と起承転結、山場の検討

<文学作品の主張にせまる>

⑤対比

登場人物・言葉の対比・クライマックス前後の主役の言動や心情の対比等

⑥象徴

題名や主材(主役がこだわり続けた人や物事とその裏に隠された意味)

⑦主題

作品の主張

<文学作品を評する>

⑧批評

作品についての批評

「対話」活動

自己の「解釈」の構築や
拡充・深化のための言語活動

<個の対話 I>

(1) 自己内対話

「分析の観点」を基にして自己の「解釈」をもつ

<個対個の対話>

(2) 教師との対話

自己の「解釈」を教師と交流する

(3) ペア対話

互いの「解釈」を二人組で交流する

(4) 取材

意見を聞きたい仲間のもとへ行き、互いの「解釈」を交流する

<個対集団の対話>

(5) グループ対話

小グループで互いの「解釈」を交流する

(6) 全体対話

クラス全員で互いの「解釈」を交流する

<個の対話 II>

(7) 個のまとめ

最終的な自己の「解釈」をまとめる

(8) 作品との対話

作品を批評し、自己の考えを表現する

育てたい姿 (3年)

主題を基に自分の考えを深める

教材：故郷

分析の観点
②④⑤⑦⑧

「対話」活動
(1) (2) (4) (6) (7) (8)

育てたい姿 (2年)

主題に対し自分の考えをもつ

教材：走れメロス

分析の観点
②④⑤⑦

「対話」活動
(1) (2) (4) (5) (6) (7) (8)

育てたい姿 (1年)

主題について考える

教材：少年の日の思い出

分析の観点
③④⑤⑥⑦

「対話」活動
(1) ~ (7)